

宮古地協ニュース NO.6(第90号)

連合岩手宮古地域協議会 発刊・作成責任者:伊東喜幸 発刊日:2024年6月12日

— 県北地協・宮古地協合同学習会 —

2024年6月8日(土)県北・宮古両地協の青年委員会による合同学習会が開催されました。県北地協9名宮古地協6名の15名(両事務局長含む)が参加しました。午前中に三陸ジオサイトのひとつ、マリノローズパーク野田玉川(野田玉川鉱山跡)に集合し見学。続いておおのキャンパス道の駅に移動し木工・陶芸体験。さらに、久慈琥珀博物館の見学(ガイドつき)と、タイトな日程でしたが充実した1日となりました。夜には交流会を開き、親交を深めました。

マリノローズパーク野田玉川



トロッコに乗っているのはお人形さんです おみやげも買いました アイスも食べました 'ワインの試飲もオッケー

おおのキャンパス

木工チーム

マイ箸作成中

へらを作っています



おおのキャンパス 陶芸チーム



皆さん上出来でした

完成品は1, 2か月先になります

[1日を通しての参加者の感想]・普段行けないところに行けてよかった ・新しい発見があった気がする
 ・皆さんと楽しかせてもらった ・体験コーナーでは思ったよりうまくできて満足
 ・いろいろな方と親交を深めることができよかった、機会があればまた参加したい

久慈琥珀博物館



学習会を終えて

終了式



岩手県内であっても、それぞれの土地・場所によって歴史も文化もちがう。直に訪れ見て知って、そして肌で感じることによって理解を深めることができるし、知見も広がる。また職種も職場環境もちがう同年代の組合員と、同じ時間を共有することで互いを尊重し合い、認め合う土台を築くことができる。そういった意味でも、今後も合同学習会を継続して取り組んでいきたい。

今回の学習会の段取りをさせていただいた県北地協の坂本事務局長に感謝！